

## 監督◆インタビュー

監督

## ランコポポヴィッチ

RANKO POPOVIC

プロフィールは  
こちらをクリック!

## --中3日で臨む次の水戸戦に向けて、大事にしたいことは何ですか。

「前節の仙台戦からの修正点に通じますが、してはいけないミスをなくすことです。相手が得意としている形や我々にとって危険な形を相手に出させなかったですが、一番集中力が必要なセットプレーで集中力を欠いてしまいました。先に点を取られると、どうしても難しい試合になりますから、まずはそれをなくしていくことです。一方でチームとしてどう戦えたか、という視点では、決して満足していない試合ではありません。ただ前半に関しては戦術的な駆け引きこそできていましたが、相手を探ることに意識が行くあまり、自分たちの良さを出すことが薄くなってしまった印象です。相手に対して穴を作らないことは重要ですが、そこだけを考えてしまって、攻撃が臆病になってしまうと、自分たちの良さを最大限には出せません。また前半はアクションを起こすことが足りなかったと思います。夏の暑い時期とはいえ、体力を計算してセーブしながら試合に入ってしまうと、チャンスを活かす機会を逸することにもなりかねません。そうならないためにも、試合の流れや状況を読むことがとても重要です」

## --水戸の印象は？

「ハイレベルで戦ってきますし、アグレッシブなチームでもあります。また最近もしっかりとボールを繋いでコンビネーションで崩す形も身につけています。例えば木下康介選手はモダンなタイプの選手だと思います。経験は足りないですが、才能やプレースタイルはJ1とJ2を通してもNo.1です。相棒である安藤瑞季選手も変わらずに良いものを出しています。推進力もありますし、強度もあります。私も大好きな選手です。ただ彼ら2人だけではありません。椿直起選手もいます。チームとしてはショートカウンターだけでなく、コンビネーションプレーで崩す形もありますし、攻撃のバリエーションが増えています。我々としてはイージーなミスは許されません。水戸に対しては、我々も最高レベルで戦っていく必要があります」

## --今節もホームゲームです。ファン、サポーターの皆様へメッセージをお願いいたします。

「仙台戦の皆様のおかげで、最後まで諦めずに選手たちが戦い続けることに繋がり、2ゴールを決める要因にもなったと思います。水曜日のナイトゲームでお越しいただくのは簡単ではないと思いますが、全員が120%の力を出して一緒に戦いましょう」

## --水戸戦は残念ながら累積警告によるベンチ入り停止となりました。

「私は何も心配していません。長く一緒に素晴らしい仕事をしているコーチングスタッフもいます。チームとしては良い雰囲気です。私がベンチに入れないこういった機会を、チームとしての成熟度を見せる良い機会だと捉えて、試合に臨んでほしいです」

FC MACHIDA ZELVIA Official MATCHDAY PROGRAM DIGITAL

FC町田ゼルビアと、共に。  
CLUB  
ZELVISTA  
オフィシャルファンクラブ  
クラブゼルビスタ 2022  
シーズンシートシーズンシート  
クラブゼルビスタ2022  
会員募集中!